

事業実施報告書

団体名 NPO 法人クッキープロジェクト

事業名 中間的就労 テラスでこんにちは販売事業

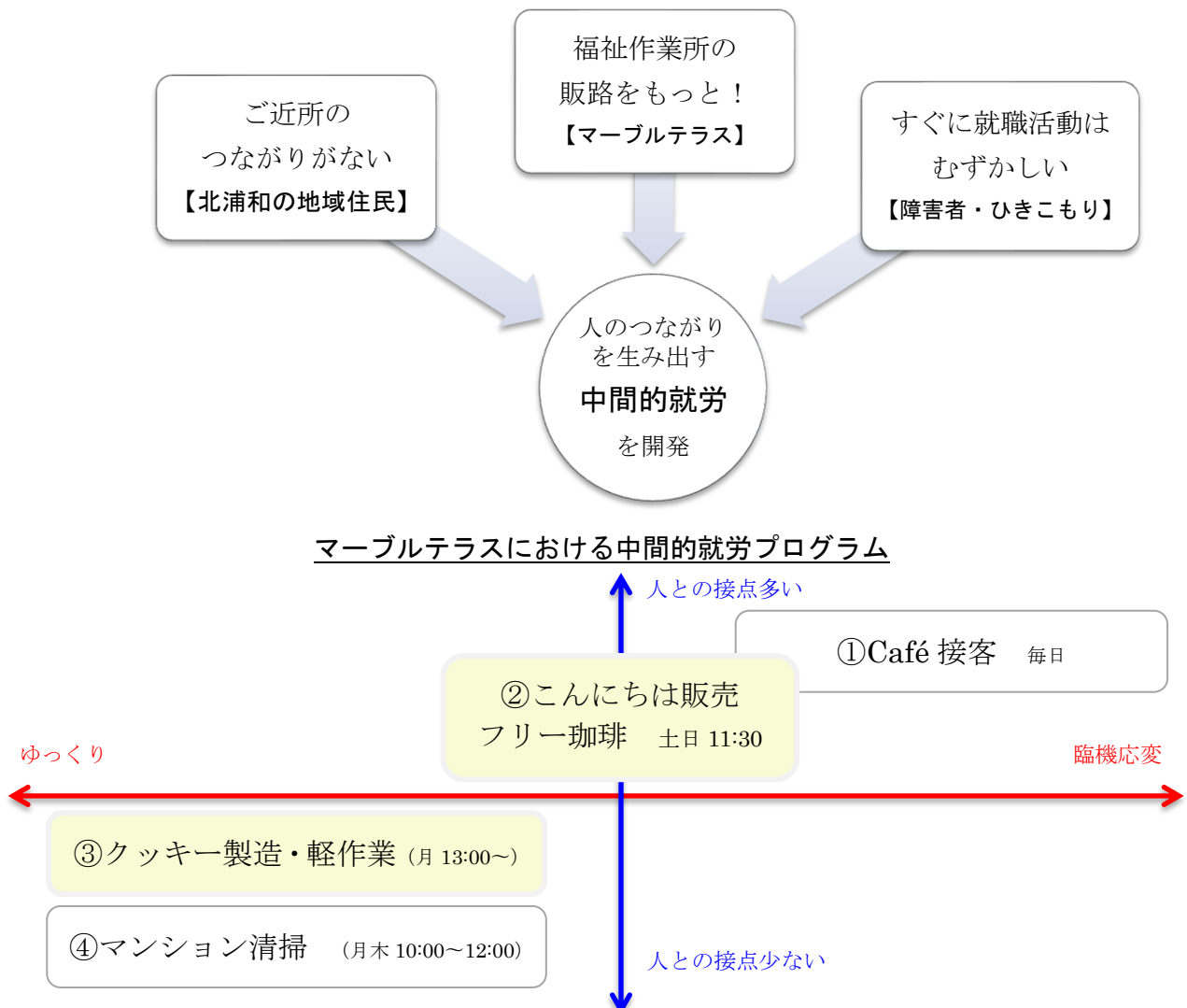
1 事業の目的

私たちは、障がいのある人もない人も、いろいろな人がまぜこぜになって暮らすことが豊かな社会だと考えている。2020年3月、障がい者やひきこもり等がまぜこぜで働ける新拠点「マーブルテラス」を開設した。この拠点の軒先である公共空間のテラスを活用してクッキーを販売する「テラスでこんにちは販売事業」を立ち上げる。多様な人のつながりのある豊かな地域をつくるため、中間的就労の場を創設すると共に、福祉作業所の商品の販路開拓に貢献する。

2 事業内容

(1) 事業の概要

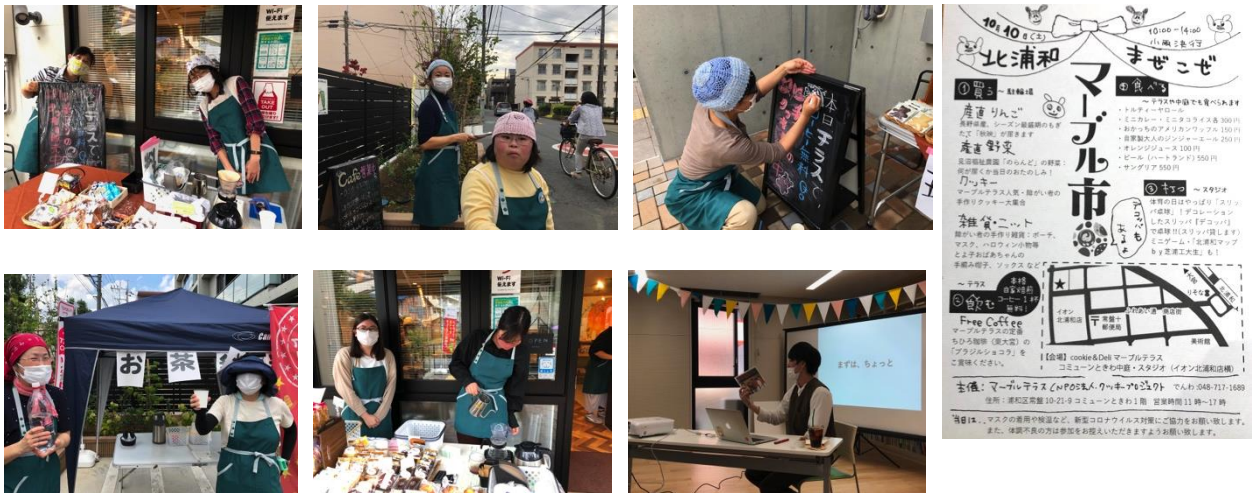
福祉作業所のクッキー販売体験、無料で珈琲をふるまい、対話から地域住民のニーズをヒアリングし、そのニーズをもとに中間的就労プログラムを開発します。



(2) 事業の流れ

① 中間的就労の実施日とのべ参加人数

	こんにちは販売・フリー珈琲		クッキージャム製造	
	実施日	のべ参加	実施日	のべ参加
7月	7/18、26	1人	7/9	2人
8月	8/8、12、22、23、	6人	8/9	1人
9月	9/12、19、22、26	3人		
10月	10/1、3、4、10、11、 13、17、24、31	14人	10/29	1人
11月	11/7、14、21、26、 28	9人	11/12、19、22	3人
12月	12/9	2人	12/13、21	4人
2月			2/22、28	5人
合計		35人	2/22、28	16人



② 地域住民のニーズを事業化しよう研修

- 10月5日 やどかりの里「エンジュ」配食サービス 現場視察
- 10月10日 「まぜこぜマーブル市」にて近隣住民アンケート実施
北浦和に住み始めた理由、周辺でよく利用する場所、
体調がすぐれなかったときの「今だから言える話」等
- 12月8日 先進事例セミナー コロナ感染拡大のため延期
「小さな居場所づくりトーク川越・38℃カフェの場合」
講師：合同会社オンド代表 吉田尚平氏
- 2月22日 上記先進事例セミナー実施

(3) 連携・協力機関

コミュニケーション	会場貸与（テーブル&イスの提供）
NPO 法人うりんクラブ	8/8 海をつくろうイベントにて、ポテトチップ販売
見沼福祉農園「のらんど」	10/10 まぜこぜマーブル市開催にて野菜販売
芝浦工大松下ゼミ学生	9/26、10/3、10/10 近隣住民アンケート協力
グーチョキパーティ（浦和区 中部圏地域包括支援センター）	毎月第2火曜日 地域福祉活動の情報交換会に参加

3 成果及び今後の展開

- ・ 3月19日にオープンした新拠点「マーブルテラス」は、緊急事態宣言など、人が集い出会うしかけづくりに苦労した1年だった。そんな中、地域住民に知っていただく入口として、「こんにちは販売」は密にならない屋外の活動だったため、有効であった。近所の子どもが、エプロンをつけて珈琲を配ったり、輪投げ係を手伝ってくれることもあった。
- ・ 中間的就労の体験者には、既存の「マンション清掃」「カフェ接客」のプログラムに加えて、助成金を活用して「こんにちは販売」「クッキー製造」をプログラム化することができた。屋外の活動は天候に左右される点は計画が難しかった。
- ・ ジョブトレーナーは、有償スタッフの田中をはじめ、5人の無償ボランティアが交代で活動、シニアの社会参加の場を創出することができた。
- ・ 芝浦工大の学生と「まちの保健室」をテーマにアンケートを実施。アンケートから、気軽に立ち寄れる場づくりのためには、ハードとソフト両面からの敷居の低い「入口」が必要であることを痛感した。これを受けて、先進事例セミナーでは、「入口」をテーマに参加者との意見交換をすることができた。
- ・ 研修会はコロナの状況が改善せず、予定どおりの開催に至らなかった。

アンケート回答より抜粋「気軽な相談所に期待すること」

- * 何でも聞いてくれる人がいる
- * キッズスペース欲しい
- * ウェルカムさがある雰囲気
- * 子供が連れていけると子育て世代に気軽に來れる
- * スタッフの専門性
- * 中が見えないと入りにくい
- * 月ごとに相談会がある
- * チラシで分かるようにしてほしい
- * 訪問もできるほうがよい
- * イオンは毎日利用する
- * その人にあったかかりつけ医を紹介してくれる場所
- * 学校→教室→保健室→第4の居場所が必要ではないか
- * 話を否定しないで受け入れてくれること
- * 病院みたいに窓がないのは✕ 距離感が程よい

<その他・こぼれ話から>

- * 将来に不安を感じていた時、クッキープロジェクトから障がい者の情報に関する話を聞けて安心した。会って話せる場所が欲しいと感じた
- * 障がい者の作ったものを買うことで支援協力できることがうれしい
- * タコライスがおいしかった